

## 2 教育・研究活動

### (12) 非常勤講師等

#### ① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授 業 科 目 名	時間数
学習臨床学特論	15
学習場面臨床学特論	15
学校教育相談演習	30
障害児生理心理学論	30
情緒障害児指導法	30
障害児病理学論C	30
数学教育学特論B	30
理科野外観察指導実習H	15
理科野外観察指導実習I	15
住居学演習	30
食教育特論	30
指揮法研究	15
日本音楽研究	15
造形心理学特論	30
学校カウンセリング特論	30
学校実験計画法	30
学習臨床カウンセリング	30
金属加工学特論	30
学校臨床心理学特論	30

イ 学校教育学部

授 業 科 目 名	時間数
教育方法学	15
特別活動論	30
養護内容	30
漢文学講読	30
哲学概説	30
社会学概説	30
算数	15
算数科指導法	30
体操・器械運動	30
金属加工法	30
住居学（製図を含む）	30
初等家庭科指導法	30
音楽	40
合奏C	30
独唱Ⅲ	30
合奏B	15
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習Ⅰ	30
社会教育演習Ⅱ	30
コミュニケーション 英語CⅠ	30
コミュニケーション 英語CⅡ	30
コミュニケーション 英語BⅡ	30
体験学習A	16
保育の心理と行動	30
子どもの福祉	30
社会福祉Ⅰ	30
社会福祉Ⅱ	30
総合・生活科指導法（A・B）	14
総合・生活科指導法（C・D）	14
総合・生活科指導法（免P）	14

心理統計解析	30
一般心理学	30
英文学演習	30
英文学概論	30
日本国憲法	30
法律学概説	30
日本史研究B	30
初等音楽科指導法	30
造形基礎A C	15
デザインワークⅡ	60
博物館概論	15
器楽セミナーⅠ	6
器楽セミナーⅡ	12

## ② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
人間教育学セミナーⅠ	教育実践の視点からの教職の意義	4
総合・生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	16
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	6
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（学習論）	中学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	2
中等英語科指導法（授業論）	中学校の英語科授業における授業計画の立て方や評価について実践的な立場から学ぶ。	6
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	8
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数指導の評価の実際	4
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際	6
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討	8
理科指導法演習	小学校理科の指導に関する展開例、実践例及び問題点	4
実践セミナー	小学校教員養成（図画工作）	4
図画工作科指導法	小学校教員養成（図画工作）	8
中等美術科指導法（過程論）	中学校教員養成（美術）	6
中等美術科指導法（教材論）	中学校教員養成（美術）	6
中等家庭科指導法（教材論）	中学校教育現場における家庭科教材の具体的指導事例について講義する。	4
中等家庭科指導法（教材論）	家庭科における情報教育の在り方とパソコンを利用した教材作成方法について指導する。	6
初等家庭科指導法	小学校教育現場における「いのちの教育」実践について紹介、講義する。	6
初等家庭科指導法	初等教育の家庭科における適切な教材観を養い、授業設計ができるようにする。	6
中等家庭科指導法（課程論）	中学校家庭科の指導計画について教育現場の視点から講義する。	2
中等家庭科指導法（指導論）	中学校家庭科の指導計画について教育現場の視点から指導する。	2
中等技術科指導法（課程論）	技術科のカリキュラム開発と実践	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践（特に技術とものづくり）	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）	2
中等技術科指導法（基礎論）	技術科教材研究の実践に関する基礎論	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践（特に技術とものづくり）に関する基礎論	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践（特に情報技術とコンピュータ）に関する基礎論	2
初等音楽科指導法	初等音楽科の授業に関する内容（目的、教材、指導法、評価）	16
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科の授業に関する内容（目的、教材、指導法、評価）	8
総合演習（学校と食の教育）	人間と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、これまでの実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	10

授 業 科 目 名	授 業 の 趣 旨 ・ 概 要	年 間 授 業 時 間 数
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
障害児教育概論 I (介護等体験事前・事後指導含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	12
初等体育科指導法	模擬授業を通して実践的な体育科の授業づくりや指導法を学ぶ。	8

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	12
総合学習と生活科	小学校における生活科と総合的な学習の具体的な展開を講ずる。	10
家庭の教育と育児	少子化が進む現代の家庭教育及び保育所保育を取り上げ、とりわけ3歳未満の乳幼児の保育・教育について実践的な理解を深める。	6
実践セミナーⅠ・Ⅱ「家庭」	模擬授業を授業実践を位置づけ、授業計画及び授業評価について具体的に学習することを目的としている。	8
学習指導と学校図書館	学校図書館の活用およびその指導内容・方法について、実践的な立場から説述す	8

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
保育実習Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅱ	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
介護等体験（特別支援学校）事前指導（免P該当者）	教員免許状を取得するには、介護等体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を	4
介護等体験（社会福祉施設）事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護等体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、教育実習全体の心構えや学習指導案の作成指導等	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、音楽の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、体育の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、図工の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、国語の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、社会科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、算数の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、理科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、生活科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、道徳の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に修得させる。板書指導とその構造化の指導を担当する。	60
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に修得させる。理科の授業づくりと理科の学習指導案の作成指導を担当する。表現テスト（話し方等）も一部担当する。	20

### ③ ティーチング・アシスタント

#### ア 修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
体験学習A	阿部 他	前期	集中	14 時間
体験学習C	西山・定本	通年	不定期	30 時間
体験学習E	高石	後期	不定期	30 時間
体験学習F	佐藤(悦)他	通年	不定期	30 時間
体験学習G	天野・大場	通年	不定期	30 時間
体験学習H	後藤他	通年	不定期	30 時間
ウォータースポーツ	清水他	前期	集中	30 時間
マリンスポーツ	清水他	前期	集中	30 時間
スノースポーツ	市川 他	後期	集中	30 時間
表現・相互行為教育演習	加藤泰・松本健・阿部 音	前期	火 1	30 時間
表現・状況的教育方法演習	高石 他	後期	水 1	30 時間
教育情報基礎演習	井上	後期	月 4	30 時間
教育情報基礎演習	大森	後期	金 3	30 時間
教育情報基礎演習	中野	後期	月 4	30 時間
教育情報基礎演習	石川	後期	木 2	30 時間
教育情報基礎演習	高野	後期	金 4	30 時間
教育情報応用演習	井上	前期	月 4	30 時間
教育情報応用演習	大森	前期	月 5	30 時間
教育情報応用演習	高野	前期	水 2	30 時間
教育情報応用演習	石川	前期	火 1	30 時間
音楽	阿部他	通年	木 3	20 時間
図画工作A	洞谷・西村・高石・ 松尾	前期	金 3	30 時間
図画工作B	洞谷・西村・高石・ 松尾	前期	木 1	30 時間
図画工作C	洞谷・西村・高石・ 松尾	前期	火 3	30 時間
図画工作D	洞谷・西村・高石・ 松尾	前期	木 4	30 時間
中国語・中国事情 I	黎子椰	前期	月 1	30 時間
総合演習(学校と食の教育)	立屋敷	後期	月 5	30 時間
保育・表現の指導法	大山・阿部靖	後期	火 3	30 時間
表現・〈子ども〉の活動A B	西村 他	前期	金 1・2	30 時間
表現・〈子ども〉の活動C D	阿部(靖) 他	前期	金 1・2	30 時間
算数科指導法A B	布川・岡崎	前期	木 2	15 時間
算数科指導法C D	布川・岡崎	前期	火 2	15 時間
初等音楽科指導法A B	時得 他	前期	月 2	30 時間
初等音楽科指導法C D	時得 他	前期	木 2	30 時間

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
初等家庭科指導法A B	滝山・得丸	前期	火 2	10 時間
初等家庭科指導法C D	滝山・得丸	前期	火 1	10 時間
物理学実験	西山・室谷・ 定本	後期	月 3・4	30 時間
計算機数学演習	中川仁	後期	木 4	30 時間
地域調査法 B	赤羽・佐藤・ 山縣	前期	集中	30 時間
書写書道 II	押木秀樹	前期	月 3	30 時間
心理学実験	中山・内藤・ 越	前期	木 3・4	30 時間
コンピュータ・プログラミング入門A	高野	前期	木 3	30 時間
コンピュータ・プログラミング入門B	高野	後期	月 3	30 時間
書写書道 I	押木秀樹	後期	月 2	30 時間
地理学野外実験	赤羽・佐藤・ 山縣	前期	集中	30 時間
数学基礎演習 I	岩崎・高橋・ 中川	前期	火 4	30 時間
生物学実験	小川(茂)	後期	木 4・5	30 時間
指揮法	後藤	前期	木 5	30 時間
造形基礎 A C	福岡・ [山ノ下]	前期	月 5	15 時間
野外運動 A (スキー)	市川	後期	集中	30 時間
電気工学実験実習	川崎	後期	集中	30 時間
被服製作の理論と実習	佐藤(悦)	後期	火 3～5	30 時間
調理の理論と実習	立屋敷	後期	火 3～5	30 時間
食生活論	立屋敷	前期	木 1	30 時間
保育学実習	大瀧	前期	集中	30 時間
機械工学実習	黎子椰	後期	木 4	30 時間
造形基礎 B D	西村・高石・ 松尾	前期	月 4	30 時間
地学実験	大場孝・天野	前期	月 4・5	30 時間
数学基礎演習 II	溝上	後期	火 4	30 時間
微分積分学演習	谷川	前期	月 3	30 時間
デザインワーク I	安部	後期	木 3	30 時間
食科学実験 A	光永	後期	月 4・5	30 時間
食科学実験 B	立屋敷	前期	月 4・5	30 時間
被服学実験 A	佐藤(悦)	後期	木 4・5	30 時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷 他	後期	火 5	30 時間
工芸表現 B	高石	前期	木 5	30 時間
被服学実験 B	藤木	後期	木 4・5	30 時間

担当教員の [] 書きは、非常勤講師を表す。

## イ 博士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
発達臨床研究セミナーⅠ	西 穰司	通年	月 1	45	時間
臨床心理基礎実習Ⅰ	内田 一成 他	前期	木 3・4	24	時間
臨床心理基礎実習Ⅰ	内田 一成 他	前期	木 3・4	24	時間
臨床心理基礎実習Ⅱ	内田 一成 他	後期	木 3・4	45	時間
臨床心理基礎実習Ⅱ	内田 一成 他	後期	木 3・4	45	時間
聴覚障害教育臨床実習	我妻 敏博	通年	不定期	44	時間
特別支援教育研究法演習	我妻 敏博	通年	不定期	44	時間
地域研究実験	大嶽, 佐藤	前期	集中	45	時間
音楽学演習	茂手木潔子	前期	火 2	15	時間
日本音楽研究	茂手木,〔福永〕	前期	集中	15	時間
木工芸研究	西村 俊夫	前期	木 1・2	45	時間
メディアデザイン研究	西村 俊夫	後期	月 1・2	45	時間
工芸表現A	西村 俊夫	後期	木 5	22	時間

担当教員の [] 書きは、非常勤講師を表す。

#### ④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
国語（書写を含む。）	押木 他	前期	金 1 集中	30 時間
理科	中村（雅）	後期	月 2 火 1	30 時間
音楽	阿部 他	通年	月 6	60 時間
図画工作	洞谷 他	前期	木 6	30 時間
体育	市川 他	前期	集中	30 時間
家庭	滝山・得丸 他	前期	月 2	30 時間
道徳の指導法	林	前期	集中	30 時間
図画工作科指導法	太田・阿部 （靖）	後期	木 6	30 時間
初等家庭科指導法	滝山・得丸	前期	木 6	20 時間
生徒指導論	安藤	後期	月 1	15 時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 他	後期	木 2	30 時間



⑤ リサーチ・アシスタント

任用期間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
6月 1日～8月31日	200時間	効果的カウンセリング研修に関する研究	学校教育研究科	藤生 英行 准教授
6月 1日～8月31日	200時間	効果的カウンセリング研修に関する研究	学校教育研究科	藤生 英行 助教授
6月 1日～3月31日	200時間	ハルビン師範大学との連携事業	学校教育研究科	我妻 敏博 教授
6月 1日～3月31日	200時間	日本及び中国における水環境の現状とその教材化に関する研究	学校教育研究科	佐藤 芳徳 教授
6月 1日～3月31日	200時間	小・中学校と連携した美術的なものづくりの教材開発に関する基礎研究	学校教育研究科	西村 俊夫 教授